

経済連携協定（EPA）に基づく外国人看護師・介護福祉士受入事業

平成22年度予算額 869,245 (82,993) 千円

※（ ）内は平成21年度予算額

1 看護・介護導入研修、巡回指導等	146,740 (82,993) 千円
--------------------------	----------------------------

(1) 看護・介護導入研修経費

- 入国した看護師・介護福祉士候補者に対して受入施設で就労する前の看護・介護分野の基礎研修

(2) 受入施設巡回指導・相談専門員経費

- 受入施設を巡回訪問し、看護師・介護福祉士候補者の就労・研修の状況を把握。必要な場合は雇用管理に関する指導及び研修方法等の指導を実施。（看護又は介護専門家及び日本語専門家が同行）
- 看護師・介護福祉士候補者及び受入れ施設からの相談・苦情対応

(3) 国家試験問題の翻訳（尼語・英語）

- 過去の国家試験問題を翻訳し候補者へ提供

2 看護師候補者受入施設に対する研修支援	370,242 (0) 千円
-----------------------------	-----------------------

(1) 受入施設研修担当者会議開催経費

- 受入の好事例の発表
- 施設同士の情報共有の場を提供

(2) 外国人看護師候補者受入施設に対する支援事業

- 受入施設の研修支援体制の充実を図るため研修指導者経費、物件費等を支援
- 1施設当たり 295 千円

(3) 外国人看護師候補者就労支援対策事業

- 就労上必要な日本語能力を高めるため、日本語学校等への修学又は講師の派遣による研修の実施等に係る経費を支援
- 候補者1人当たり 117 千円

(4) 外国人看護師候補者看護専門・日本語習得研修支援事業

- eラーニングを活用し、看護専門分野を中心とした日本語習得のための継続的な自己学習の環境を整備
- 上記学習システムにて、日本語及び看護分野の専門家が候補者個々のレベル

に応じた指導を実施

- 定期的な集合研修の実施により習得度の評価を行い、段階的な学習指導を行う研修支援体制を構築
- 看護専門家及び日本語専門家による巡回訪問の際に、受入施設の管理者、研修担当者及び候補者に対し、研修のフォローアップを行う。

3 介護福祉士候補者受入施設に対する研修支援

352,263 (0) 千円

(1) 受入施設日本語習得支援事業

- 受入施設における継続的な日本語研修（日本語講師の受入施設への派遣、日本語学校や養成校への通学）に係る経費を支援
- 候補者1人当たり年間235千円以内

(2) 日本語定期研修事業

- 集合研修で確認テストの実施、習得度の評価、個々の候補者に応じた適切な学習方針の提示などを実施
- 研修期間中に確認された候補者ごとの日本語習得度や適切な学習方針については、受入施設にもフィードバックし、候補者及び受入施設が一体となって計画的に日本語を習得できるよう支援